

「小児の下肢骨長調整手術における術後鎮痛法についての後方視的観察研究」

1. 研究の対象

2020年2月1日から2027年3月31日までに当院の整形外科において下肢骨長調整手術を全身麻酔下で受けられた方

2. 研究目的・方法

下肢骨長調整手術は手術侵襲が大きく、術後の痛みが強いです。痛みは術後の心身状態やリハビリの進捗などに大きく影響します。当院では術後の痛みに対して従来硬膜外鎮痛をおこなってきましたが、近年患者さんへの身体的負担が少ないと考えられている末梢神経ブロックもおこなわれています。当研究では、上記期間におこなわれた硬膜外鎮痛と末梢神経ブロックの術後鎮痛効果を比較検討するものであります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録から、術後24時間に使用した鎮痛薬（種類、投与回数、時間など）、鎮痛法に起因すると思われる副作用（嘔気嘔吐、神経障害など）の情報を抽出します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立こども病院 麻酔科部長 篠崎友哉（研究責任者）

仙台市青葉区落合4丁目3番17号 電話 022-391-5111